

No.	ご意見	回答	局	担当課
1	<p>(1) 熊本電鉄踏切の安全対策について 坪井6丁目には熊本電鉄が通っている。市の施設である男女共同参画センターはあもにの先にあるアイスクリーム屋の近くの踏切では、何年か前に死亡事故が起きている。何度もそこで電車が止まったりしており、先日も踏切で遊んでいた子どもが、危ないところを間一髪で電車が止まったので助かったということがあった。自分の校区だけではなく、踏切があるのに遮断機や警報機がないところが多い。そのため、事故が多発していると思われ、亡くなった方もいるので早急に何とかしてほしい。市から、熊本電鉄に対策を講じるよう指導してもらえないだろうか。</p>	<p>熊本電鉄菊池線の踏切については、他にも清水や亀井など危ない所がいろいろあるので、電鉄にはしっかりとご意見を伝えたい。 この他にもJR豊肥線なども中央区を通っており、対策も少しずつ進んできているが、踏切を車椅子で渡る際に引っかかりやすいなど危険箇所もあると思うので、地元の方皆さんのご意見を伺いながら、JR九州や電鉄に伝えて協調しながらやっていきたい。</p> <p>(いただいたご意見の内容については、個人情報を除き、所管先の熊本電鉄へ情報提供させていただいた。【広聴課】)</p>	<p>都市建設局</p> <p>市民局</p>	<p>交通政策総室 北部土木センター 維持課 広聴課</p>
	<p>(2) 水害対策について 黒髪の道路の写真を持ってきた。水害対策のために、道路のかさ上げと、追加のポンプ設置をお願いしたい。北部土木センターをお願いしているが、なかなか返事がない。 また、近くの自動車学校が道路のかさ上げに反対しているので工事が進まず、既に10年止まっていると聞いている。せつかく道路を造っても税金の無駄遣いになるので、早急に対応してほしい。</p>	<p>写真を拝見すると、自動車学校・坪井周辺は水はけが悪いので大変なのだと思う。自動車学校も教習の関係などもあり計画も難しいのと思うが、北部土木センターとも、これからどういう計画で何を優先するのか話をし、住民の不便をまず解消するというところで取り組んでいきたい。</p> <p>(道路の嵩上げについては、沿線地権者の協力が不可欠であり、現在、地域の代表者に説明を行い、合意形成に向けた協議を行っている状況であり、事業実施の目処がつけば道路整備計画に計上する予定である。また、最近ではゲリラ豪雨など集中的に降るため排水の許容量を超えてしまう場合がある。ポンプ施設は熊本県所管であるため、運転管理方法及び増設の計画検討をお願いする。【北部土木センター工務課・河川公園整備課】)</p>	<p>都市建設局</p>	<p>北部土木センター 工務課 河川公園整備課</p>
	<p>(3) 自転車のイベントについて 自転車のイベントで、ツールド福岡、ツールド北九州というのがある。市長も自転車に興味をお持ちでFacebook等で発信されていると伺っている。熊本市は、「弱虫ペダル」というアニメーションの映画の舞台にもなっているので、九州3つ目の政令指定都市として、ぜひ「ツールド熊本」の開催をお願いしたい。私は、個人的にツールド北九州を走ったことがあるが、政令指定都市で100万都市でもある北九州は、道路の幅が広い。そこを自転車で走る爽快感は、他ではなかなか味わえないと思う。観光客誘致の面でも役立つと思うし、「熊本城マラソン」と「ツールド熊本」の自転車ということで、健康にもつながると思う。</p>	<p>自転車に関しては、まず、自転車が走りやすくするという環境整備の面と、最近自転車が歩行者にぶつかるなど危ないという運転マナーの面がある。 自転車網の整備も進めているが、まだ一部しかできていない。白川河川敷を国土交通省が整備したので、そこを自転車歩行者専用道路として通れるよう協議しているし、他の場所も走りやすいようにしたいと思っている。 それと同時に、道幅の問題もあるので、きちんと運転マナーを守るよう、特に学校などの教育機関等に働きかけて取り組んでいきたい。 自転車は健康にも良く、今サイクルツーリズムなども含めブームで人気もあるので、自転車のイベントを開催すれば多くの参加者が見込める。 ただ、マラソンイベントと同様に、そのコース自体をどうするかという問題、当日の交通規制の問題、その交通規制により渋滞を引き起こすなどの問題もあり、マラソンも自転車もとなると、交通管理者との綿密な協議も必要となる。 多くの方が熊本市を訪れ、泊まって観光してもらえる機会を多くつくるのは良いことだと思うので、ご提案いただいたようなイベント等についても、他自治体を視察するなど勉強し、検討していきたい。</p>	<p>観光文化交流局</p>	<p>スポーツ振興課</p>
2	<p>(1) 災害時の避難について 私は竜南中学校の北側に住んでいるが、竜南中学校のすぐ下は、雨が降ると道路がすぐ冠水する。 もし、地震と水害が同時に起こったら、私は泳げないし避難場所の竜南中学校へどうやって避難したらいいのか分からない。水害の際には家の2階にじっとしていようと思っているが、地震の際にはどうやって竜南中学校へ行けばいいのか考えると怖い。</p>	<p>地震のときの避難をどうするのかについて、特に高齢者の方は、避難場所まで到達できるのかという問題もあるので、地域の実態に合わせた避難場所の設定であるとか、避難の訓練のあり方、あるいは誰がどのように声を掛けるのかなど、地域版ハザードマップを作成する中でも検討している。 この地域版ハザードマップについては、自治会など地域の方々と話をしながら訓練等に活用していきたい。</p>	<p>総務局</p>	<p>危機管理防災総室</p>
	<p>(2) 独居の高齢者の安全・安心について 最近、知人の葬儀に行った。その方は家族が散歩中に亡くなっていたそうだ。私は一人暮らしなので、病気でなくても常に不安がある。 そこで、独居の高齢者のために、体調などの異変を消防署へ通知できる装置(例えば、ペンダント型の装置で具合が悪いときに押せば消防署へ連絡が行く。)など、何か対策を取っていただけないだろうか。突然死なども多いので、ぜひお願いしたい。</p>	<p>1人であるのが不安というお気持ちはよく分かる。 中央区でも、これから一人暮らしの高齢の方が増えていくことが想定される。そのような方々の不安がないように、中央区でも災害時要援護者の支援体制整備事業に取り組んでいる。災害時に援護が必要な方については、災害時要援護者支援登録申請書を書いて送っていただくと、要援護者として登録される仕組みである。このような制度もあるので、ぜひ活用していただきたい。 ペンダント型の通報装置のご提案もあったが、現状では、何かご自身に緊急事態があったら、まずは119番に電話していただきたい。</p> <p>(概ね65歳以上で見守りを必要とする高齢者を対象に緊急通報装置を貸与し、急病時の対応を図る熊本市高齢者安心支援事業を実施しているが、心臓疾患等の既往症があること等の一定の要件を満たす必要がある。【高齢介護福祉課】)</p>	<p>健康福祉子ども局</p>	<p>健康福祉政策課 高齢介護福祉課</p>

No.	ご意見	回答	局	担当課
3	<p>地域のごみ問題について</p> <p>黒髪の熊本大学には、4つの町内が隣接している。私の町内は、その中のひとつ4町内だ。</p> <p>4町内は、一般家庭240世帯に対して、学生アパート100棟、学生1,000世帯であり、一般家庭より学生の世帯がはるかに多い特殊な地域である。</p> <p>我々自治会では、安全で安心して暮らせるまちづくりを基本理念に掲げて、環境美化とりわけゴミステーションの美化に取り組んでいる。これを防火防犯につなげ、犯罪行為を地域から廃絶しようと、ここ3年間ごみ問題の改善に真剣に取り組んでいる。</p> <p>学生が多い地域なので学生の協力は不可欠ということで、今年1月、熊大生100人、自治会役員、中央区役所まちづくり推進課、北部クリーンセンターの職員で構成する違反ごみをゼロにしようというゼロプロジェクトが発足した。1月の発足以降、月1回町内のごみステーションを巡回し、違反の実態を学生に見てもらい整理作業をする体験学習を10回実施した。その効果もあってか、ルール違反ごみがここ3年の間に半減した。しかし、そもそも過去のルール違反ごみが多すぎたので、まだまだ指定日無視、未分別などルール違反は多い。</p> <p>自治会でも放っておかず、毎週ごみの整理作業に追われている。何日も道路に放置され猫やカラスに食い散らかされ散乱した違反ごみの中身には、その50%にコンビニ弁当のトレー、箸が入っており、その他封筒、学習参考書、専門書、テキスト、部活の日程表など、明らかに学生が出したと思われるものが90%以上を占めている。</p> <p>そこで、北部クリーンセンターと話し合い、自治会と合同で熊本大学の事務局へ申し入れをした。大学は毎年1/4の学生が入れ替わるので、入学時のオリエンテーションの際に正しいごみ出しに関して、町内会や市から出向いて講和させてほしいと事務局へ再三申し入れをしたが、なかなか受け入れてもらえない。ちなみに、大分、長崎では、市から大学入学時のオリエンテーションに出向いて指導していると聞いている。</p> <p>については、一地域からの要望では文部科学省は聞き入れてはくれないので、市と大学法人という組織間で話し合せて、大学入学時のオリエンテーションの中で時間を取ってもらい、親元を離れて初めて自立生活をする新入生に、ごみの分別や再利用の必要性などごみ問題の基本的な考えを積極的にPRしていただき、次世代を担う学生にごみ出し意識の啓発を行ってほしい。</p>	<p>実は、私も同じ問題意識を持っている。ご発言の取り組みに関しては、新聞等で報道もされており、ご意見もいただいていたところである。学生が多く住んでいる黒髪地区、とりわけ4町内とか6町内などいくつかで、ごみをどうするかが課題になっている。</p> <p>先日、地域連携の担当窓口をしている熊大の副学長が来られた。その際、地方創生に関連して一緒に取り組んでいこうとご提案いただき、今後、県と熊本市と大学で連携していくことになったので、その会議のときにでも地域からのご意見として伝えていきたい。</p> <p>学生にとっても、その地域に住み、地域社会の皆さんと共生していく意義を学ぶことは、たった4年間であっても大事なことだと思うので、しっかり申し入れをしていきたい。市から出向いてよいので時間を取らせてほしいということは、市からの正式なお願いという形で申し上げたいと思う。</p> <p>また、学生の中には3月に大型の冷蔵庫とか家電などを捨てていく人がいる。そういう物を集めて後輩や新入生に譲る活動なども行う、リクラブという名の環境ボランティアサークルもあるようだ。リサイクルなどに関心をもつ学生に、こうしてほしいと指導などしていけば、だんだんきちんとできていくのではないかと思うので、しっかりと取り組んでいきたい。</p>	環境局 中央区役所	ごみ減量推進課 北部クリーンセンター まちづくり推進課
4	<p>郵便ポスト設置について</p> <p>私は兵庫県芦屋市から引越してきて3年になる。熊本のことはよく分からないが、今住んでいるところは千葉城町で、厚生年金会館跡のマンションに住んでいる。3棟ほどのマンションと九電の社宅などで全200戸ほどある。この近所に郵便ポストを設置してほしい。</p> <p>以前この場所にあったのは、厚生年金会館や大きな建物だったので郵便ポストは不要だったのだと思うが、今は200戸も住んでおり、ちょっとした団地のような状況である。郵便物を郵便ポストまで持っていくと思えば京町の郵便局か、古京町の県立体育館、あるいは信愛女学院の前まで行かなければならない。</p> <p>新興住宅地で戸建200戸といえればかなり広いので郵便ポストの一つもできるが、私達は小さな区画に11階建や13階建と縦に高く200戸の世帯が住んでいる。</p> <p>目の前にスーパーがあるのでその一画か、邪魔にならなければ市道にあってもいいと思う。または、隣に郵便貯金の施設があるのでそこを利用できないか。</p> <p>私個人の考えだが、3棟200戸のマンションを小さな団地と考えてもらって、郵便ポストを一つ設置してもらえないだろうか。</p>	<p>郵便ポストは市の管轄ではないので、日本郵便にお願いしないといけない。たしかに、私も最近郵便ポストも探すと、意外と長い距離歩かなければなかったりする。</p> <p>日本郵便の方と話す機会もあるので、利便性を考えて検討してほしいというご意見いただいたと伝えたいと思う。</p> <p>（いただいたご意見の内容については、個人情報を除き、所管先の日本郵便へ情報提供させていただいた。【広聴課】）</p>	市民局	広聴課

No.	ご意見	回答	局	担当課
5	<p>大江新町団地の公園化について</p> <p>私達の町内は託麻原校区だが、高齢者が大変多い。また、公園が無いが、土地はある。戦前寄付され、公園の用地ということで土地はあり、記念碑もある。記念碑は朽ち果てて危ない状態だ。</p> <p>終戦後、引揚者などで、町内に住宅がたくさんできた。町内の公園用地の住宅は70年ほど前に建てられている。その周りの民間所有の土地においては、30年ほど前に建物は取り払われた。</p> <p>公園用地の住民に対しては、公園内の建物が市から払い下げられ、土地は市、建物は住民のものらしく、熊本市が地代を徴収しているようだ。建物も70年以上経って朽ち果てている。住んでいない所もある。先般、地代を払っていないということで長屋の一部が取り壊され困いをしてある所があるが、まだその周囲には、居住者がなく朽ち果てた建物や台風で壊れた家もある。</p> <p>現状では、その住民の方々が居住権を取得しているので、いつまでたっても公園はできない。現地の建物は古く、払い下げの際の契約では一代限りという話を聞いていたが、改造すればよいということで改造して人に貸したり、土地は駐車場にして貸したり、畑にしたり、また住んでいた人が出て行った時に住民の知り合いが建物を買ったりしている。</p> <p>そのような状況で現在に至っているので、子ども達が遊ぶ場所、高齢者が集まる場所が全く無い。4町内のお年寄りには家でもっているか、たまに夕方道路を歩くくらいで、朝集まる公園のような場所が全く無い。</p> <p>そのような状態なので、熊本市として払い下げた建物を買い戻すなどしないと、また住民が転売などされたりして、このままでは100年経っても公園は造れない。</p> <p>周辺住民は皆公園をほしがっている。終戦後あの公園用地の周りの物件を買った人達も、近くに公園ができる土地だと思っておられたのに、全然公園はできないでいる。私が生まれてから、既に65年経つが、昔のままである。</p>	<p>この団地については、市議会でも地元の議員から話をいただいている。昭和17年2月に区画整理事業の永久緑地帯（公園用地）として土地所有者から寄付をいただいたという土地だ。</p> <p>ただ、ここに戦災者や引揚者のためということで、7棟（20世帯分）の長屋が建てられて、昭和25年に居住者に建物が払い下げられている。市は現在土地の貸付契約ということで借地料をいただいている。この経緯については、よくご存知だと思う。</p> <p>現在空き家となっている建物の契約保留者5名については、寄付の意向が確認できたため、今年1月までに建物の寄付を受けた。そのうち、取り壊しが可能な2軒について3月までに解体工事を実施して更地になっている。残りの3軒についても、長屋なので隣接の所有者との話し合いを進め、可能などころから解体工事を行うということで予定している。</p> <p>団地住民の自動車の駐車や敷地内の花壇などについては、団地住民と話し合いをしている最中であり、引き続き取組みを続けていくので、ご理解いただきたい。</p> <p>ご要望があるように、託麻原地区は住宅が密集しており公園が無いというのはよく理解しているが、これまでの経緯を踏まえ、地域住民や団地住民の皆様のご意見を伺って可能などころから進めていくということで、進捗状況につき中間報告とさせていただきます。</p>	<p>局</p> <p>財政局</p>	<p>担当課</p> <p>管財課</p>
6	<p>（1）市県民税の徴収方法について</p> <p>市県民税の金額が年度によって額に差がある。</p> <p>8月までは3,200円、10月は43,000円請求がきた。それが来年の8月くらいまで2ヶ月ごとに年金から引かれていき、そしてその次の年になるとまた数千円に下がるといふ。</p> <p>なぜ、徴収税額にこのように差があるのかと疑問に思う。年金暮らしなので、大きく天引きの額が上がったり下がったり変わると、計画が狂い生活がしにくい。徴収税額の平準化はできないのだろうか。</p>	<p>税額が3,200円から43,000円に上がったということは、前年の所得など個別の状況もあり分からないので、区役所の税務課など住民税の窓口で直接問い合わせをしてほしい。</p> <p>基本的に、地方税法等のルール通り徴収をしているはずなので、一時所得など何らかの課税の原因があったのではないかとと思うが、また確認をさせてほしい。</p> <p>（年金特別徴収（年金差引）により市県民税を徴収している皆様の納付方法については、前年度2月の特別徴収税額と同額を本年度の仮徴収額として4月、6月、8月の年金から差し引き、6月に決定した年税額から仮徴収額を控除した額を本徴収額として10月、12月、2月に差し引きしている。</p> <p>この結果、医療費控除等の申告により年税額が変動すると仮徴収額と本徴収額が乖離し、1年毎に仮徴収額と本徴収額が増減するケースが発生する。</p> <p>この問題に対応するため税制改正が行われ、平成29年度の仮徴収より前年度の年税額の1/6を仮徴収額として4月、6月、8月の年金から差し引くことになった。この改正により、仮徴収額と本徴収額の乖離が2年で解消することとなり、平準化が図られることとなる。【課税管理課】）</p>	<p>財政局</p>	<p>課税管理課</p>
	<p>（2）国民健康保険の医療費負担割合について</p> <p>国民健康保険加入者が窓口で払う医療費の負担割合が、7月までは1割だったところ、8月に通知が来たら3割に上がっていた。窓口で3割負担するのは、相当つらい。</p> <p>前期高齢者については、せめて2割負担くらいにとどめてほしい。</p>	<p>国民保険料加入者の方が窓口で支払う医療費が3割負担ということだが、現在、国民健康保険会計は大変な赤字で破綻寸前の厳しい状況である。</p> <p>特に所得の低い方については可能な限り軽減措置を取れるように議論をし、負担の平準化を目指しているところではあるが、国民健康保険会計は保険料で支える仕組みなので、医療費が増大していくと大変厳しいという側面があるということは、ぜひご理解いただきたい。加入者の負担は軽くしたいが、制度が破綻してはいけぬ。</p> <p>また、国民健康保険の業務が今後都道府県に移管するので、その際にまた制度が変わってくる。財政負担が変わったり、国からのお金が投入されたりすると思われるので、その時に、負担割合がどのようになっているのかなども含めて、改めて検討する場面が出てくると考えている。</p> <p>（窓口での本人負担については、国民健康保険法に定めがあり、年齢、前年中の所得、世帯構成によって割合が決定される。本市独自の割合決定はできないことをご理解いただきたい。</p> <p>なお、前年中の所得をもって8月から翌年7月までの割合が決定されるので、所得の変動により負担割合が変更となる。【国保年金課】）</p>	<p>健康福祉子ども局</p>	<p>国保年金課</p>

No.	ご意見	回答	局	担当課
7	<p>江津湖周囲の歩道整備について せっかく、きれいな江津湖があるので、水前寺から流れに沿って左右の岸辺を歩く人にも、優しい道路を整備してほしい。現状の歩道では、並ばず1人ずつ歩かないといけない。ある程度広いと思って歩いていても、電柱や街路樹などがあり、結局狭いのである。二人ずつ談話しながら歩いてすれ違っても肩が触れない程度に広い歩道にしてほしい。 江津湖を眺めながら、ゆっくり歩いて楽しめるようなまちにしてほしい。</p>	<p>江津湖の県立図書館近辺のことと思うが、水前寺公園から道を挟んで江津湖のほうへ行くのに、せっかく水の都、地下水のシンボルなのに江津湖が活きていないので、そのつながりをどうにかできないかと考えている。すぐに歩道の幅を倍にするとは言えないが、皆様が散策をしやすくするように考えていきたい。 また、阿蘇で降った雨や白川中流域で湛水した水が地下に浸透して水前寺に出てきて、江津湖でも湧き出て加勢川から有明海へそそぐという一連の水の流れがあるし、水前寺公園も以前は年間180万人いた入場者数が今では30数万人まで減っている。せっかく江津湖の良さを観光としてPRするのであれば、江津湖単独ではなくジェーンズ邸などと組み合わせたり、水前寺公園から江津湖まで散策し健康水源地へ至るルートなどがあつたりすると、修学旅行で訪れた学生などに地下水のことを教えることもでき、水前寺公園の入場者数が増えたり、江津湖の環境が良くなったりしていくのではないと思う。 今すぐというわけにはいかないが、そのようなことにも少しずつ取り組んでいきたい。</p> <p>（江津湖は水前寺江津湖公園に含まれており、更に魅力ある公園としていく必要があると認識している。現在、水前寺江津湖公園全域について、利活用に関する基本計画を策定準備中であり、この計画に基づき公園の計画的な改修を進めていく予定である。今回のご意見主旨を踏まえながら、水前寺江津湖公園のさらなる利用向上に向けて取り組んでいきたい。【公園課】）</p>	<p>都市建設局 観光文化交流局 環境局</p>	<p>道路整備課 公園課 観光振興課 水保全課</p>
8	<p>健康について 定年退職後、健康に関心を持つようになった。週末ゴルフに行ったり、水泳や歩行などにも力をいれている。 最近足腰の悪い人が非常に多く、プールを利用しておられる。県立体育館やパークドームは10時から開館しているが、市の施設であるはません健康パークや南部総合スポーツセンターは、10月から翌6月の間は12時開館で不便に感じている。 熊本市は政令市になったことだし、夏場に限らず冬場も利用者は多いので、健康寿命を延ばす意味からも、10月から翌6月までもぜひ10時開館にしてもらいたい。</p>	<p>スポーツ施設のことについては、市長選の際に私が開催した政策立案会議の中でもいろいろご意見が出た。病気の予防のために取り組むことについていろいろ手立てがないのかという話があつた。 自治体によっては、スポーツ施設がなければ、スポーツジムに通うための助成をしたりすることなどもあるようだが、スポーツ施設の利用時間を広げて利用者が使いやすくしてほしいというご意見については、持ち帰って検討させていただきたい。</p> <p>（本市のプールは、県立体育館のプールと比較して窓面が多く、外気に影響されやすい構造となっている。冬場は朝から暖房をつけてプール内の気温を上げているが、快適にご利用いただくために一定の時間を要しているところである。 これまでも、10時からのオープンを試験的に実施したことがあつたが、利用も伸び悩み、一定の経費も増すことから断念した経緯がある。 今後も、利用状況や管理運営方法を踏まえ、開場時間を早めることができないか検討してまいりたい。【スポーツ振興課】）</p>	<p>観光文化交流局</p>	<p>スポーツ振興課</p>
9	<p>熊本城周辺バスについて 熊本城は、トリップアドバイザーの「行ってよかった日本の城」で日本一だそうだが、その熊本城周遊バスのコース環境についてお願いがある。 1つ目は、先日三の丸の細川刑部邸バス停の傍を通ったら、急に降り出した雨の中、2人の観光客が頭にハンカチをのせてバスを待っていた。このようなことがないよう、バス停に5、6人が雨がしのげるような屋根を設置できないだろうか。 2つ目は、バスが熊本城に入ってくる、YMCAから三の丸の方に道路が入っていく城の入り口のような場所がある。ところが、その左側に民家らしい建物が3軒あり、そのうちの1軒は人が住んでいないように見える。その先は家は無く、金木屋と銀木屋が植えてあり、その先は藪でぼんぼん草やカネカズラがはびこっている。先程の木屋の林も、日の当たるところは花がたくさん咲いているが、カネカズラが半分覆いかぶさり、その部分はまったく花が咲いていない。 熊本城の画らしい場所であり、観光客がどんな気持ちで眺めるのかと思う。民地であれば買収し市で手入れをするなどして、もう少し景観を良くしたらどうか。</p>	<p>周遊バスの停留所に関して観光客の利便性を高めるため、バス停にベンチや屋根があるのは良いことだと思う。今現在、博物館のリニューアル中でもあるので、そのようなことも併せてできないか考えていきたい。 なお、空き家だからといって市で民地を購入することはなかなかできないので、景観については調査させていただきたい。</p> <p>（ご意見をいただいた建物は、熊本城の宮内地区に存在しているものを指すと思われる。これらの建物については、熊本城公園整備の一環として建物の所有者と移転に向けた交渉を行っている状況であり、今後も交渉を継続していく予定である。【公園課】）</p>	<p>都市建設局 都市建設局</p>	<p>交通政策総室 公園課</p>

No.	ご意見	回答	局	担当課
10	<p>農事で高齢者の健康増進 定年後に農業をやっており感じたことを基に、農事と健康増進がどうつながるかという話をしたい。 私は現在、谷尾崎あたりで農業をしている。ここは現在一部の農家がみかん、梅などを作っているが、その他の作物はない。なぜかというところ、鳥獣被害が大きいところだからだ。地元をよく知る人は、ここに手をつけない。 私はそういう事情に疎かったので、高齢の農家の草刈を引き受けた代わりに畑作りをさせてもらっている。作っているのは、さつまいも、ピーマン、ブルーベリー、更に栗も植えたが、これらの中のものになっているのはピーマンだけである。 農事に詳しい人は猪が何をするか知っていると思う。私なりに、県が主催する鳥獣被害対策のセミナーを受け、個人的にいろいろやってみた。手段はいろいろあるが、電柵は何十万もかかる。私のような小規模に農業をする人間がかける金額ではないのでやめた。そこで、メッシュという少し丈夫な金網などで工夫をしながらやっているが、猪の方が頭が良いようで、私が今年植えたさつまいもは全滅してしまった。なかなか思うようにいかない。 ここで、農事がなぜ健康増進につながるのかにつき話したい。これから先、高齢化が進む社会では、高齢者で元気な人は農事をして、自分の口にするものを自己調達すれば、いくらかでも家計の助けになるし、同時に健康を増進できるとなれば高齢者医療費の削減にも寄与し、熊本市の健康保険財政も豊かになるとはいわないが負担は小さくなるのではないかという思いで市長に渡した資料を作成したので、熊本市として目を向けていただければと思う。 西区の担当課にも言ったが、具体的な行動にはつながらなかった。市長にはぜひ持参した資料を見てほしい。</p>	<p>金峰山麓の鳥獣被害は、議会でもきちんと問題提起がなされ、対策に取り組んでいるところである。県の鳥獣対策とも連携し、しっかり取り組んでいきたい。 今、熊本圏内全域で山から猪などがどんどん下りてきて農作物を食い荒らし、農家の被害が増えている。これは、熊本市内も例外ではなく、これまで電気柵等の導入や捕獲駆除、更には県の有害鳥獣アドバイザーによる集落勉強会等を開催してきたところである。 また、今後は農政部門の支援体制の強化も検討しているので、いただいたご意見も踏まえて対策を考えていきたい。</p>	農水商工局	農商工連携推進課
11	<p>災害時の避難のタイミングについて 市職員の方や消防職員の方、土日正月盆返上して取り組んでいるので日々感謝している。 今年は災害が多かった。気象庁からも早めの避難と言われるが、いつ避難しているのか徹底していない。この間老人会でも周りに聞いてみたが、勧告で避難するのか、指示で避難するのかははっきりしない。そういうところが徹底していないと思う。 本当に災害が発生したという段階では、自分のことで精一杯で、高齢者や身障者の方のことではないかと思うので、高齢者は早めに避難させないといけない。また、早めに避難しても、学校や公民館はどの段階で開けてくれるのか。そういうところを、市の方から徹底してほしい。 私は、何度か身障者の方を車椅子に乗せて避難訓練をしたが、50メートルも進むと、こちらの方が参ってしまう。ガタガタ道だと、私達年寄りでは押し車などを1人で押せない。通り次第では非常にきれいに舗装してあるところがあるが、きちんと業者を検査して、やらせるところはやらせ、できていないところはやり直させるなどしてほしい。 また、市の方から、市民が自らの行動に責任を持つように徹底して啓発していただきたい。例えば、駐輪禁止と書いてあるすぐ前の路上に自転車駐輪してある。台風、地震などが来たら、それらが倒れて歩いて避難できなくなる。 最後になるが、平素からの取り組みとして、この高齢者はこの人が避難させるなど自治会あたりで徹底させるようにしていただきたい。あと、水害などの時、近所の高いマンションへ逃げようとしても入れてくれない。このようなときも自治会などで受け入れ者を割り当てるようなことをしてほしいが、今はそのコミュニケーションができていない。</p>	<p>災害のときの避難についてご意見をいただいた。 私も市長になって初めて、大雨のときに避難勧告を発令した。出すタイミングや、範囲を決めなければならないが、一歩間違えると大変なことになる業務であり、胃が痛くなるような思いで勧告した。 最近では携帯のエリアメールなどもあり、携帯で登録している人には、避難勧告の災害情報が一斉に伝わったと思う。このような方法も含め、できるだけ市民の皆様へ伝わりやすくなるよう取り組んでいる。 いつ避難するかというと、事前の備えができる台風の場合は、予防的避難が重要となる。空振りだったらそれでも良いと考え避難していただけるように、実はこの前の台風15号のときは前日に避難所の開設をした。一部の地域では、きちんと避難をされた方がいらっしゃったが、その避難所開設の情報が市民の皆様にもきちんと伝わっていたのかどうかという情報伝達も含め、課題はある。 また、災害の種類によっても取り組みは異なる。地震の場合は、実際に地震が発生した後はどうするかとなるが、普段は建物その他が極力倒れないようにするなど市民の皆様にも取り組んでいただかなければならない。水害に関しては、上流でどの程度の雨が降れば白川、坪井川、井芹川などが危険水位まで増水するかというリスクなどを早めに掴んでおくということが大事なので、国土交通省や県とも情報共有しながら、ケーブルテレビ、ラジオなどで、できるだけ早くお知らせをする取り組みを行っている。 高齢者の方の避難については、中学生、高校生などが地域にいて、学生達も戦力になる。東日本大震災のとき、実は中学生がとても活躍している。ボランティアで頑張っている中学生も沢山いるので、学生にも登録してもらったり、研修を受けてもらったりしながら、地域の高齢の方あるいは障害のある方についても一緒にお手伝いをしてもらうということも、今後考えていかなければならないと思う。 私が掲げている「地域主義」とは、地域コミュニティを堅固なものにすることでもあるが、一朝一夕にはできない。あまり互いに干渉し過ぎてもいけないが、先ほど、一人暮らしで突然死の不安を抱えているとご意見された方も不安にならないよう、地域コミュニティをもっと良くしていくことは大事だし、いざというときには互いに助け合うという顔見知りの関係を築いていることは、非常に重要だと思う。 そのような地域力を向上させるためには、普段の自治会での取り組みも大事であるし、市の職員が地域に入っていくって行き、地域の皆さんをつないでいくことが重要だと考えているので、力を入れて取り組んでいるところである。</p>	総務局 健康福祉子ども局 中央区役所	危機管理防災総室 高齢介護福祉課 まちづくり推進課

No.	ご意見	回答	局	担当課
12	<p>通信制高校について 私は通信制高校に勤めており、不登校関連のNPOの代表も務めている。熊本には、通信制高校で資格が取れる学校が、十数校ある。中央区にはたくさんあるが、どこにあるかなど詳しくご存知の方は、今日ご参加の方の中でも少ないかと思う。 高校入学時の生徒の数は一桁なのだが、随時、普通高校からの転入があり、卒業時には4～50名になる。つまり、普通高校から30～40名が転校していることになる。 転校してきて話を聞くと、中学時代にはこのような学校があることをそもそも知らされていなかったという生徒がたくさんいるので、中学校でも、このような学校があることと、どのような取り組みをしているのかを周知してほしい。また、行政関係の方にもしっかり知ってほしい。</p>	<p>市内にも、普通高校、通信制高校、専門学校など、生徒のニーズに合わせたいろいろな学校があり、進路指導の際には各生徒の状況に合わせた情報提供を行っているが、多様化するニーズに対して全てを受け入れる体制としては十分でないところもあるかと思う。例えば、今、平成さくら支援学校など、特別支援学校をつくっているところであるが、ご紹介いただいたような受け入れ体制の学校があることも含め、小中学校、高校へきちんと周知していきたい。</p> <p>（進路指導にあたっては、生徒の状況に合わせた情報提供を行っており、通信制高校についても適切な情報提供を行えるよう情報収集に努めているところである。 熊本市中学校進路指導担当者連絡協議会編集発行の「進路案内」にも、通信制課程及びサポート校の紹介を掲載し、適切な情報提供を行っている。各中学校においても通信制高校から案内が届き、生徒・保護者に紹介している。 今後とも適切な情報提供に努めていく。【教育委員会 指導課】）</p>	教育委員会	指導課
13	<p>(1) 総合計画について 市長と市の職員に聞きたい。 総合計画策定にあたって、以前は10年間だった総合計画の期間を、今回市長が替わって、市長の任期に合わせて8年間に変えられたとのことだが、その後のことを市の職員はどう考えているのか。 10年という私も後期高齢者になる。その後15年すると、第2次ベビーブームの人達が65歳を過ぎて高齢者になる。そうすると、熊本市も今の状態でいけば、年金生活者が格段に増え、税収は全然入らなくなってしまう。現役で働いている人が500万～600万もらっているときの住民税と、退職後の200万程度の収入に対する住民税は全然違う。 そのような状況下で、市の職員としてその先を見据えて熊本市をどうしようと考えているのか全然話が見えない。新しい市長になられて新しい総合計画を作られるということだけで、その先が見えないという話である。 今後、熊本市の人口が現状のまま74万で推移していくことはないし、悪くすれば60数万まで落ちて、そのような中で割合が多くなった高齢者ばかりが住民税を納めるようになったら、市民は一体どのような生活になるのか。そういうところを考える市の職員がいてもいいのではないかと。 そういう部分が全然見えないのに、今作っている総合計画の話をするというのには、個人的にはいかがなものかと思う。</p>	<p>8年というのは、あくまでも総合計画の区切りの話である。したがって、8年後までしか考えていないというわけではない。 選挙に基づいて市長が交代すると、当然いろいろな政策が変わり、それが計画にも反映されていくことになるが、これまでの総合計画は10年区切りだったため、反映するタイミングがずっとずれていた。 そこで、市長の任期にあわせて計画を立てようということで、今回8年区切りにした。これには、市長の任期4年間できちんと見直しができるようにするという意味がある。 それと同時に、人口ビジョンというものを作りながら、熊本市もっている都市政策研究所においても、今後の出生率の変化等で高齢社会の人口がどう推移していくのかなど、さまざまなシミュレーションを行っている。そのような中で、人口が減った場合に、例えば高齢者が余計に税金を納めなければならないという話になるとバランスが崩れてしまう。 やはり、人口は数だけでとらえてはだめで、その構成が非常に重要である。今、熊本からは、若い20代くらいの男性が流出しているが、若い女性は比較的多いという状況もある。そこで、熊本にコールセンターなども誘致し、立地も進んでいる。そのような働き口も含めてつくっていくことも計画として立てていかなければならない。 行政の中で4～8年という短期から中期の取り組みに関しては、総合計画の中で、具体的な基本構想、基本計画、実施計画をきちんと組み立てていくので、それは今後見ていただき、ご意見をいただければと思う。 現在、熊本は財政力指数が20の政令市の中で最下位である。財政力が弱いということは、税収が低いということであり、今後、産業を呼び込んだりしながら、税収を上げていかなければならない。 したがって、今後の人口構成がどのように推移していくのかも含め、財政力などの問題も数値としてとらえ、解決していかなければならない。現在、中期の財政見通しも示しているので、中期、長期、どのようなまちの姿にしていくのかについてもご意見やアイデアをいただきたい。</p>	市長政策総室 都市政策研究所	政策企画課
	<p>(2) 熊本市と近隣自治体の関係について 市長の見解は分かるが、人を呼んだとしても、熊本市の政策より、合志、菊陽、大津など近隣の他市町に住む人が増えれば何にもならない。このことについて、市長はどのような考えなのだろうか。</p>	<p>先般、「連携中枢都市宣言」を行った。熊本に一極集中するのではなく、合志市など16市町村で連携しながら地域（都市圏）をつくっていかうということを考えている。 実は、企業立地等に関しては、地価の高い熊本市内に生産拠点を置くよりも、近隣の町や村に置いた方が良いこともある。一方で、近隣の町村にある工場などに通う人は熊本市内に住んでいることも多く、交通渋滞問題が発生していたりもする。この渋滞問題の解消、あるいは医療費などのように自治体同士のサービスの格差をなくすなど、近隣自治体と連携しながらバランスを取るような政策を考えている。 我々も課題が認識できるので、どんどん意見を出していただきたい。</p>	市長政策総室	政策企画課

No.	ご意見	回答	局	担当課
	<p>(1) 市民懇話会について 市民懇話会に参加しているが、関連する大量の資料をもらい、その一つ一つについて長い説明をされる。その後は、各テーブルに分かれ、ただ「各テーブルで検討してください」と促されるが、一体何を検討すればいいのか。 例えば、市には今このような問題があり検討しているが、その問題につき、改善点など何か意見がないかというように、もっと具体的にテーマを与えてくれればいいが、今のようやり方では皆困惑してしまう。 しかも、今日の「ドンドン語ろう！ in中央区」では各意見に対し市長に回答してもらっているが、まちづくり懇話会の場で市側から回答は何も出ない。回答はホームページに載せると言われるが、パソコン等でホームページを閲覧できない人は分からない。 言い方は悪いが、この懇話会は市役所職員の自己満足・帳面消しの類だと感じる。次年度も開催するだろうから、やり方につき見直しをしてほしい。</p>	<p>来年度以降、総合計画の周知や意見聴取の機会を設けるにあたっては、ご指摘いただいた市民懇話会の反省点を踏まえ、市民の皆さんと職員が意見交換できるようにするとともに、意見が出やすい具体的なテーマ設定等の工夫を行う。</p>	市長政策総室	政策企画課
14	<p>(2) 熊本城周遊バスについて 先ほど、熊本城周遊バス「しろめぐりん」の話があったが、私に言わせれば、あれは何の楽しみもない、単なる路線バスである。本来バスは、それに乗せる対象者が熊本市内の人なのか、あるいは県外の人、国外の人なのかによって、全く異なるくらい姿が変わるはずである。 「しろめぐりん」は、せっかく熊本市の中心部を回るバスなので、名所・旧跡あたりを運転手の方が案内しても良いのではないかと思う。 以前このバスに乗り、たまたま乗客が私一人だったとき、明八橋は日本でも珍しい石橋だという話も聞きホームページで調べたが、珍しいと言われる理由は載っていなかった。聞くところによると橋の形が日本では珍しいらしいが、できればそういう案内があれば良いのではないかと思う。日本全国の路線バスが観光としてやっていることなので、お願いしたい。 また、香港と中国の方がお城でバスに乗車した際に、1日乗車券と1回分の乗車券のどちらを買うと言っているのか、運転手の方が分からぬようだった。このような状況から、熊本弁でガイドに話させるようなことはやめて、運転手の方に通訳ガイドブックのようなものを渡し、外国の方はその中の文章を指差しして意思を伝えられるようにするなど外国人対応を楽にしてはどうかと考える。お金も掛からないことなので、ぜひ検討をお願いしたい。</p>	<p>しろめぐりんのルートや運転手の外国語対応などについては、他の自治体が行っている取組みもたくさんあるので、いただいたご意見と併せて参考にしたい。</p> <p>(現在、熊本城周遊バスは熊本都市バスが運行しており、運転手には「おもてなしサポーター講座」などの接遇講習を受講した女性職員を積極的に配置し、安全な運行を実施する上で支障のない範囲で観光案内をしているところである。運転手一人での対応となるため、車内で常に観光案内を実施することは難しいと考えられるが、今後可能な範囲で時節に合った観光情報を利用者へ提供していきたいと考えている。 また、外国人への対応に関しては、日本語・英語・中国語・韓国語の4ヶ国語での車内アナウンスを実施するとともに、同4ヶ国語に対応した観光パンフレットを作成し、車内や運行ルート周辺の施設等で配布しているところである。 今回、ご提案のあった外国人対応における通訳ガイドブック等の活用に関しては、運行する熊本都市バスに対し、情報提供するとともに、市としてもバス事業者と協力して、外国人利用者へのよりよい対応策を検討していきたいと考えている。【交通政策総室】)</p>	都市建設局	交通政策総室
15	<p>(1) ごみの不法収集について 私は、自治会の中でごみの減量美化推進員を十数年務めている。おかげさまで、私の町内のごみステーションについては何も問題ないのだが、そのごみステーションに関連した問題で質問がある。 ごみステーションに出された資源ごみを違法に収集している業者が結構いる。市の委託業者はマークがあり、マークのついていない軽トラックで違法業者と分かったので注意したところ、トラブルになりそうだった。市の担当課に連絡したところ、そのような業者には凶器を持っている者もいたりしてトラブルになる恐れもあるので、その場で直接言わない方がいいと言われ、恐ろしくなった。 市の担当課から違法収集業者の車のナンバーを控えておき連絡してほしいと言われ一度連絡したが、その違法収集業者は今も回っている。 違法収集業者の監督、取締りなど、もっと厳しく取り組んでほしい。</p>	<p>資源ごみの持ち去りへの対応も厳しくしようということで取り組んでおり、今から体制も見直す。パトロールもきちんとしていく。</p> <p>(資源物の持ち去りについては、条例違反であり、本市としては資源物持ち去り防止指導員による早朝パトロールを実施している。複数の人物が持ち去り行為を行っていることも把握しており、その行為を確認した場合は、行政指導や行政命令を行い、特に悪質な場合は警察と合同捜査を行い、告発を行っている。 また、関係機関が合同で「一斉パトロール」も行い、一定の効果をあげている。 ただし、持ち去り行為者に対し市民の方が直接注意をすることについては、トラブルとなった事例もあるので、接触されないようお願いしたい。持ち去り行為を目撃された場合には、ごみステーションの場所・時間・人物の特徴・車のナンバーなどが分かれば情報提供いただきたい。その情報を基に、指導員をごみステーションに配置するなど、パトロールを強化していきたい。【ごみ減量推進課】)</p>	環境局	ごみ減量推進課
	<p>(2) 国勢調査について 今も国勢調査の実施期間中である。私も調査員をしており、引き受けたのは今回で3回目だが、毎回、調査票の回収に苦労している。2つのエリアで80世帯担当しているが、ワンルームマンションなど単身世帯の多いところは大変回収率が悪い。 今回はインターネット回答によって非常に便利になったと聞く。私の担当地区では60%くらいがインターネットで回答されているが、ワンルームマンションなどは何回訪問しても「なしつぶて」で2割ぐらいはまだ未回収である。 指導員の人達とも話し合っ、何とか月末までには処理をするということになっているが、またそのあと督促状を出すということになっているので、まだしばらく足繁く通わなければならないのかと思うと、足の悪い私は大変だ。統計課に聞いたら、統計課職員も残業して大変らしいが、私も変わらないくらい大変である。 私は5年前に国勢調査員をして良かったことを新聞の読者の広場に投稿して掲載されたので今年もまた投稿しようと思っているが、まだ良いところが見つからない。 インターネット回答も良かったのかもしれないが、私の実感としては、大して効果はなかったということをおきたい。</p>	<p>国勢調査については、ご協力に感謝する。引き続きよろしくをお願いしたい。</p> <p>(ワンルームマンションなどにお住まいの方への調査にあたっては、以前からスムーズにいかないのご相談を受けており、ポスターの掲示やパンフレットの配布、マンション管理者等への協力依頼など行ってきたところである。 また、今回の国勢調査では、できるだけ円滑に調査が行えるよう、調査回答へのきっかけ作りや、「面白い」と感じてもらえる工夫、インターネットを利用することにより簡単にご回答いただけることなどを、全国一斉に、テレビをはじめさまざまな広報に努めてきた。 初めて導入されたインターネット回答ではあったが、本市においても、おおよそ4割ほどの方にインターネットを利用してご回答いただいているところであり、一定の成果はみられたものと考えている。【統計課】)</p>	市民局	統計課

No.	ご意見	回答	局	担当課
15	<p>(3) さくらカードについて さくらカードを利用しており、来年の3月いっぱいまでシステムが切り替わると聞いているが、おでかけ乗車券の残額がある場合どうなるのか。 また、おでかけ乗車券が切り替え前に切れた場合、バス料金・市電の料金についてはどのように対応できるのか。</p>	<p>残り時間の関係から、さくらカードについては、後で資料を送らせていただくという形での回答とさせていただきます。</p> <p>（「おでかけ乗車券」は、平成28年3月31日まではバスや市電で使用することができるので、残額が無くなった場合はバス等の車内や区役所及び総合出張所にて購入していただくことができます。また、「おでかけ乗車券」を使いきれなかった場合は、乗車券に残った金額を負担割合に応じてICカードにませ換えることとしている。ませ換えの受付は3/1からは5区役所、4/1からは区役所及び総合出張所にて行う予定である。【健康福祉政策課】）</p> <p>（関係資料については、広聴課より申出人へ送付した。 【広聴課】）</p>	健康福祉子ども局	健康福祉政策課
16	<p>(1) 保育の質について 私立の保育園に勤めている。以前、保育の量だけでなく、質も向上させたいと市長が説明しているのを聞いた。 公立の園では、1歳児については5人に1人の保育士が配置されているが、私立の場合は2歳児と同じく6人に1人の割合のままである。しかし、一般の保護者は、同じ認可保育園ということで、保育士の配置などの細かい割合は知らないまま入園させていると思う。 子どもにとって、1歳は自我が芽生えとても大事な時期なので、保育士を手厚く配置することは素敵な取り組みだと思う。そこで、熊本市が行っている独自の配置基準を、公立だけでなく私立にも広げていただくと、保育の質が向上し公立・私立の差が縮まって良いのではないと思う。 それとあわせて、保育士の待遇改善も進めていっていただきたい。 また、今0・1歳児入園の問い合わせが非常に多いが、入園可能な状況ではなく、このまま3月までこの状況が続くと思われる。区長は、地域型保育事業を進めて、待機児童の解消を進めていくと言っているが、進捗状況はどうなっているのか。 あと、一般の人がそのような情報を知りたいときどのような手段があるのか。私達も把握できてないので、園への問い合わせに対して答えることができない状況だ。 現在の園に、もっと0・1才児を受け入れてほしいと市からもお願いされているが、今の状況では保育士も足りず、とても対応できない。仮に0・1歳児をたくさん受け入れると、次年度から2歳児、3歳児と年齢が上がると新たな0・1歳児を受け入れられず、園児達の年齢バランスが崩れ、結局、職員の配置や雇用にも大きく影響する。このことについては、どのように考えているのだろうか。</p> <p>(2) 保育園の安全面について 先日、市から不審者情報のメールが配信されてきたが、不審者が出た当日ではなく、翌々日くらいに配信されている。 今、安全面が重要視されており、保護者も不安を持っているので、一刻も早い情報の確保と発信を考えてほしい。市の考えも教えてほしい。</p>	<p>残り時間の関係から、保育のことに限っては、後日、回答させていただきます。</p> <p>(1) 保育の質について （保育所の保育士の配置については、今年度から3歳児の配置基準を15：1により実施する場合は人件費を加算する「3歳児配置改善加算」が新設されたところであり、1歳児については、公立保育所では、児童の安全確保のための運営判断として1歳児の配置基準を4：1としているが、私立保育所においては、施設型給付費の範囲内で各園の実情に応じた配置を行っていただきたい。 保育士の処遇改善についても、給付費における処遇改善加算が設けられたところであり、この加算分が職員給与に適切に反映されるよう指導監査等を通じ把握することで、保育士の確保と質の向上に取り組んでいく。 また、待機児童の7割以上を占める0～2歳児の受け皿確保のため、600人規模の地域型保育事業者を7月に募集し、児童福祉専門分科会及び子ども・子育て会議での意見聴取を経て、10月末に37事業者に対し認可の内定を行ったところである。現在、各区役所での周知やホームページ等での広報を進めている。 既存の保育施設の0歳児・1歳児の定員増については、各施設で年齢毎の定員設定が違ふことから、3歳以上児を3歳未満児の定員設定に比べて大きく設定している施設を対象として、3歳以上児の定員を減じて3歳未満児の定員を増やす定員転換を行ってまいりたい。 【保育幼稚園課】）</p> <p>(2) 保育園の安全面について （不審者情報等が熊本県警察から本市に届いた場合、速やかに各施設に周知し注意喚起を行うとともに、緊急を要する場合は、該当エリアの保育施設に直接電話連絡を行っている。 今後とも、迅速な情報提供に努めてまいりたいが、各施設へのメール配信にはタイムラグが生じるので、各施設においても熊本県警察の「ゆっぴー安心メール」に登録いただくようお願いする。 【保育幼稚園課】）</p>	健康福祉子ども局	保育幼稚園課
	<p>(3) マイナンバーについて 冒頭の市長の市政説明の中にもマイナンバーの話があった。マイナンバーの利便性についてはよくPRされているが、欠点の情報が出していない。きちんと利点・欠点の両面を説明し、欠点への対策まで説明することによって、よりマイナンバーの良さが理解できるのではないと思う。 マイナンバーについて今後どのように説明していくのか、市の考えを教えてください。</p>	<p>ご不明の点は、熊本市マイナンバーコールに電話で尋ねてみてほしい。 今日、1つ申し上げたいのは、マイナンバーのことで市役所の職員が聞きだしたり、電話したりすることはないので、おかしかったらコールセンターの方へお問い合わせいただきたい。 詳しいことは、また後日回答したい。</p> <p>（マイナンバーのメリットとしては、行政での事務の効率化というもの言われている。また、市民の皆様のメリットとしては手続き時の添付書類の省略などがある。特に個人番号カードのメリットとしては、顔写真付きの身分証明になるほかICチップに格納された電子署名機能や個人認証機能により、税の電子申告や証明書のコンビニ交付などのサービスが利用できるようになる。 その他のサービスについても、健康保険証の機能など今後サービス拡大が予定されている。 デメリットについては、カードの紛失といったリスクなどが考えられるが、マイナンバー自体が漏洩しても個人の情報までは漏洩しない仕組みやセキュリティ対策が施されている。これは、キャッシュカードやクレジットカード同様に紛失盗難時は、国の専用コールセンターにご連絡いただきたい。 これらカードの取扱い説明については、カード交付時に取扱説明書をお渡しし、市政だより・ホームページ等でお知らせする予定としている。 【区政推進課社会保障・税番号制度推進室】）</p>	市民局	区政推進課 社会保障・税番号制度 推進室

No.	ご意見	回答	局	担当課
17	<p>（１）中心市街地の緑化について 熊本は森の都と言われている。しかし、市の中心部は、花畑町や桜町など大変きれいな町名が多いが、実態はそうではない。花畑町といっても花はなく、桜町といっても桜並木はない。 この際、中心市街地で予定されている再開発に合わせて考慮してほしい。緑が多く豊かな熊本市の中心街にしてほしい。 私は以前金沢市に住んでおり、最近久しぶりに行ってきたが、以前と比べ非常にきれいになっている。兼六園と一体化したようなきれいな街になっているので、どうかそれを参考にしてほしい。</p>	<p>これからいろいろな計画を作っていくが、たしかに、花畑町や桜町だけでなく、熊本市内は緑が少ないと思う。市役所の14階から市内を見渡すと、緑があるのは熊本城周辺、金峰山、立田山、託麻三山であり、それから先は雁回山まで緑がない。 「森の都」に相応しい街並みにしていくためにも、緑化を含めて考えなければならぬと考えている。一度には無理だが、しっかり取組んでいきたい。</p>	環境局 都市建設局	環境共生課 都心活性推進課
	<p>（２）中心部公園への噴水設置について 熊本は水の都とも言われているが、熊本市内に噴水がない。それが悲しい。 そこで、噴水を取り入れた夏でも涼しいような公園にしてほしい。辛島公園などは地面はコンクリートで、夏は暑く公園という感じはしない。地面は芝生などにして、木陰などもつくり、緑多い中心街にしてほしい。</p>	<p>（辛島公園については、現在、「桜町・花畑周辺地区まちづくりマネジメント検討委員会」において、桜町地区及び花畑地区のまちづくりの一環として、その整備方針、利活用及び継続的な運営方法を審議しており、「電車通り側への顔をつくる、落ち着いた緑が感じられる空間を形成する」との方針を掲げて整備計画を検討しているところである。整備計画の策定にあたっては、ご提案のあった内容も含め検討していきたい。【公園課】）</p>	都市建設局	公園課